

町会・自治会と 民生・児童委員の連携を

自由民主党議員団 伊藤 正信



暮らしやすい地域をつくるためには、町会・自治会と民生・児童委員が連携して活動する必要があると考えるが、区の見解は。

区長 今後、必要な情報を区が仲立ちすることなどにより地域で連携して活動できるように、「要支援者情報台帳システム」の活用を含めて検討していきたい。

見守り対象者名簿に対する不安の払拭を

安否確認や軽易な支援活動への負担感や個人情報の取り扱いにくさから、名簿の受け取りを躊躇している町会・自治会が多いと聞く。このような不安をどう払拭していくのか。

財調基金からの繰り入れの目標達成状況を示せ

平成25年度の見通しとして36億円余りを財調基金から繰り入れると示されたが、この目標は平成25年度予算で達成できたのか。

区長 目標額を2億円余り下回ることができたことか

ら、目標はほぼ達成できたものと考えている。
児童館とキッズ・プラザのあり方の検討を

区民から見えやすい形で、児童館、キッズ・プラザなどの機能面を含めた将来の姿を早期に示し、課題解決に向けた最適な組織のあり方を再度検討すべき時期にきているのではないか。

区長 児童館をU18プラザとキッズ・プラザに転換していく中で、機能や役割を区民にわかりやすい形で明確に示していく必要があると考えている。また、委託による事業展開にあたっては、子ども施設の区職員を主にすこやか福祉センターの組織に充て、きめ細やかな支援に専門的に従事させていく。

現状を踏まえた脱原発、再生可能エネルギーへの転換を

日本共産党議員団 金子 洋



福島県の子どもたちに甲状腺がんが見つかった。原発事故を絶対に繰り返さないために、原発ゼロと再生可能エネルギーへの抜本的転換が必要である。区長は現政権に対し、転換への政治的決断を求めるべきではないか。

区長 今後の原子力発電については十分な検証、安全対策の再構築が必要であり、代替エネルギー供給の可能性も踏まえ、その行方を見守っていくべきである。

区長 今後の原子力発電については十分な検証、安全対策の再構築が必要であり、代替エネルギー供給の可能性も踏まえ、その行方を見守っていくべきである。

大和町の防災まちづくりを着実に推進せよ

①都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」実施方針では、24年度中に行う予定の制度の制定が遅れている。制度が構築・公表されない限り、25年度予定の特定整備路線の指定も、区が計画する防災まちづくりも進めることができない。都に具体的な回答を求めるべきでは。②地域との協議にあたり、地域に張り付き、信頼され、一緒にまちの未来を考える担当職員が必要では。

区長 ①都に対して制度構築及び公表を速やかに行い、権利者に十分に説明し理解を得るよう、積極的に働きかけていく。②専従職員の配置を検討し、地域の信頼と協力を得られる体制で取り組みたい。

うたって中野駅周辺まちづくりを進めているが、その結果は一層の東京一極集中とエネルギーの過剰消費に繋がる。住宅都市としての区の特徴を生かしたまちづくりを進めるべきではないか。

区長 駅周辺のまちづくりはその立地特性を活用し、都市機能の集積により都市間競争力を強化し、「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」の形成を目指しており、今後も着実に推進する。

「なかのん」の運行体制の維持に努めよ
なかのんを運行する関東バスから区になかのん減便の意向が伝えられたが、警宮・上野宮地域では高齢者等に不可欠な交通手段となっている。区は支援を通じて運行に関与し、事業者へ責任を果たさせる仕組みを再構築すべきでは。

区長 当初は区が補助し、運行を開始したが、現在は民間の一バス路線であり、区からの補助は考えていない。

ある団体が、子どもたちから母親に子宮頸がん検診を呼びかける「母の日ありがとうカード」というものを作成し、保育園や幼稚園、小学校などに無料で配布している。子どもたちから送られると、メッセージが心に届くと思われる。無料で取り組める方法であり、

子宮頸がん検診率向上の取り組みを

中野区議会民主議員団 中村 延子



実施してはどうか。
区長 こうしたカードの活用効果などについて、調査研究してみたい。

民間活用による区有施設の光熱水費削減を
区が所有する施設の光熱水費には電気以外にガスや水道

中野区議会会期中

中野区議会では平成25年第1回定例会から区議会正面玄関等に「中野区議会会期中」の横断幕を掲示して、定例会の開催を区民の皆様にお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。



中野区議会会期中

おもてなし運動への指定管理者の参加を

おもてなし運動に参加しているのは、区有の施設で区が直接運営を行っている部署だけである。今後、指定管理者が運営する区有施設が増えること予想できるが、おもてなし運動発表会に指定管理者も加えるべきではないか。

区長 発表会への参加について働きかけてみたい。

がある。区の節電努力は評価するが、ガスも一定の条件で契約の見直しができ、料金の削減効果がある。民間のコンサルタント会社の調査では、5施設で5〜14%、概算合計190万円以上削減可能と出た。区有施設は170以上あり、民間活用で契約変更によるガス料金の削減を図っては

区長 コンサルタント会社への依頼は新たな費用を要するため、供給事業者との協議を重ね経費削減に努めたい。

乗降客数の増加にあわせた中野駅の整備を急げ

公明党議員団 平山 英明



中野四季の都市の整備により、中野駅の平均乗降客数が2万人増加するとされる中、新北口改札及び南北通路の完成が急がれる。①グラウンドデザイン・バージョン3では西側橋上駅舎・南北通路、新北口デッキ、駅ビルは24年から26年に都市計画手続き、27年から31年頃までに段階的に整備するとしている。その一方で、委員会では、最優先で整備するとの報告があったが完成目

標年度は。②安全対策として、JRに対し中野駅のホームドアの設置を求めるべきでは。
区長 ①橋上駅舎及び南北通路の整備は、最優先と認識している。26年度の都市計画手続きに向け取り組んでおり、早期の開設を目指している。②ホームドアの必要性についてJRに働きかけていく。

産・学・公の連携強化を

①四季の都市地区に開校す

る大学や、区内の大学などと連携し区民が活用できる生涯学習事業を拡充しては。②大学と連携し、大和町や弥生町における防災まちづくりを考える組織をつくっては。③区立中学校の部活や英語・理数系教科での連携が可能では。

区長 ①生涯学習のほか、産業振興や都市観光振興などにも、大学の擁する知的資産の活用を考えており、一層の連携を図っていく。②大学の優れた知見を活用することについて、研究・協議していく。③理科や体育の学習支援は準備を進めている。今後、部活動など連携を進めていきたい。